## 本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	社会	学年	<u>=</u>		中学2年
単元名 (教材名)	近代国家へのあゆみ (日本文教出版 中学社会 歴史的分	野)		時	第2時(全4時)
本時の 目標	・富岡製糸場は外国人の指導を受けた全国の模範となる官営工場であり、ここで学んだ工女たちが自分の出身地に戻り、器械製糸場の働き手や指導者として活躍したことで、日本の製糸場が発展したこと、製糸業は殖産興業の代表的な産業であり、生糸は日本の主な輸出品として日本の経済発展を支えたことを理解し、知識として身に付けることができる。 【知識及び技能】・富岡製糸場が開設された背景について、複数の資料を関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。				

	学習活動	ICT 活用
I	○「富岡製糸場」の絵を見て、疑問に思うこと を、Jamboard を開いて付箋に書き出し、班 で交流する。	「【学習者用端末】 「富岡製糸場」の絵が貼られた Jamboard を 開き、絵を見ながら疑問に思うことを付箋に書 き出す。
2	〇班の代表者が意見をまとめて発表する。	2【大型提示装置】
3	○「富岡製糸場はどのような工場だったのだろう」という本時の問いを確認し、出された疑問の中から抽出したキーワードである「外国人」「工女」「器械」「生糸」等について、I人がIキーワードを担当して Googleの検索機能で調べる。調べたことをスプレ	富岡製糸場の絵を提示し、各意見の根拠となる部分を確認する。  3,4【学習者用端末】 ・Classroom から「課題」として配付されたスプレッドシートに、Google の検索機能を使って調べたことをまとめる。班ごとにシートは割
	ッドシートにまとめる。	り当てられている。 ・検索機能を使って調べる。  5【学習者用端末】
4	<ul><li>○本時の問いに対する答えを、各班で考える。</li></ul>	31子自有用端末】   発表する班のプレッドシートを見ながら発表を
5	○各班の答えを全体で交流する。	6【学習者用端末】 Classroom から「資料」として配付された資
6	○「なぜ、富岡製糸場で働いていた工女は、 3年で退職するのか」について、工女に関す る資料、日本の生糸の生産量の推移、日本 の生糸の輸出先、輸出高を示すグラフを関 連付けて考察する。	料を、端末で見ながら考察する。 まずは個人で、その後グループで考察する。 6【大型提示装置】 関連資料を横に並べて提示する。

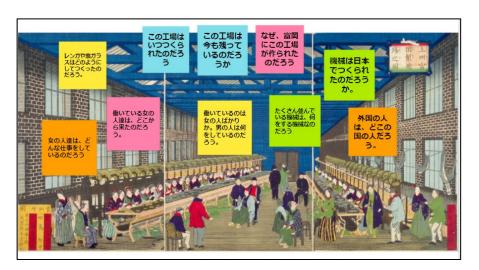
7 ○富岡製糸場は外国人の指導を受けた全国 の模範となる官営工場であり、ここで学んだ 工女達が自分の出身地に戻り、器械製糸場 の働き手や指導者として活躍したことで、日 本の製糸場が発展したこと、製糸業は殖産 興業の代表的な産業であり、生糸は日本の 主な輸出品として日本の経済発展を支えた ことを確認する。

## 備考

○生徒の端末に資料データを送っておくと、各自で資料を拡大して見ることができるため、細かい部分まで気付くことができる。

作成【奈良県立教育研究所】

## |【学習者用端末】



## 3【学習者用端末】

